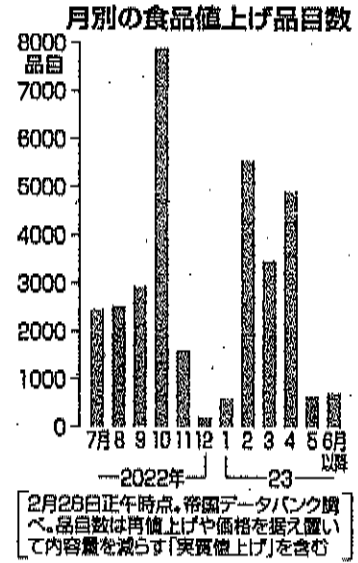


食品値上げ 今月3千品目

ちくわや冷凍食品、菓子など 8月、年累計2万品目超も

帝國データバンクは28日、8月に加工食品や菓子など3442品目の食品が



値上がりするなどの調査結果を公表した。2月は5千品目以上の食品が値上がりし、4月には既に4892品目の値上げが決まっている。今年値上げしたか値上げを予定する食品は累計1万5813品目に達しており、8月にも2万品目を超える可能性がある。

2022年に累計2万品目を超えたのは10月で、今年には品目数の増加ペースが速い。帝國データバンクは、食品メーカーが原材料高や物流費などのコスト増が長

期化するのを見越して、小幅な値上げを複数回実施するケースが増えたためだと分析している。

今年3月は、ちくわをはじめとした水産加工品や冷凍食品といった加工食品の値上げが1753品目と全体の約半数を占める。せんべいやクミンアイスクリームといった菓子も593品に上る。値上げには再値上げや価格を据え置いて内容を減らす「実質値上げ」も含む。

4月も値上げの動きが続く。鳥インフルエンザの感

JA全農たまごは28日、鶏卵の2月の卸売価格（東京地区、Mサイズ基準値）が月平均で1.4当たり327円となり、統計が公表されている1993年以降で最高値を更新したと明らかにした。鳥インフルエンザの感染拡大による供給減少や、ウクライナ侵襲に伴う飼料代の値上がり影響した。28日の卸値は過去最高

鶏卵卸値 また過去最高

2月平均、鳥インフル影響

に並ぶ335円となり、高止まりが続いている。2月の月平均卸値は、これまで最高だった昨年12月平均の284円より43円高い。1年前の2月平均（175円）と比べると、1.52円値上がりした。

昨秋に始まった今シーズンの鳥インフルエンザは異例のペースで感染が拡大。鶏などの殺処分数が過去最

染拡大で鶏卵供給が減り、鶏卵価格が高騰したことを受け、マヨネーズが一斉に値上がりする。原料となる生乳価格の上昇なども受け、ヨーグルトやチーズなどの値上げも予定されている。調査は株式会社を工場する飲

食品品メーカー105社と、非上場90社を対象に2月28日時点でまとめた。明星「チャルメラ」6月に10%値上げ

2年連続、カップ麺も明星食品は28日、即席麺

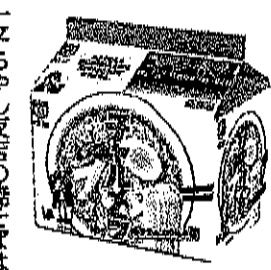
鶏卵業界の関係者は「養鶏農家が飼料高を受けて生産量を絞った影響もあり、取引先に対して供給量を一定程度制限している状況だ」と話す。野村哲郎農相は28日の記者会見で「すぐに解決する話ではない。供給が安定するには、半年、あるいは1年近くかかるのかもしれない」との見方を示した。

多くなった影響で卵の供給量が減少し、スーパーでの卵の値上がりや、卵を使った商品の販売休止といった動きが相次いでいる。

の主力シリーズ「チャルメラ」や「二平ちゃん夜店の焼そば」の希望小売価格を6月1日出荷分から値上げすると発表した。値上げ率は同シリーズとも約10%で、値上げは昨年6月に続き2年連続。原材料高やエネルギーコス

一平ちゃん夜店の焼そばは231円から254円となる。値上げの対象は他の袋麺やカップ麺、カップスープを含め計約80品目で、希望小売価格を9〜12%、オープン価格の場合は出荷価格を10〜14%引き上げる。

テーブルマークも28日、即席麺の価格改定を発表した。カップ麺の「ホームラン」や「お好み焼き」や「ラーメン」を含む13品目の希望小売価格を6月1日納品分から約12%値上げする。



トの上昇分を転嫁する。袋麺のチャルメラは5食パック1写真1が664円から734円、カップ麺の